

公表

## 事業所における自己評価総括表

事業所名	放課後等デイサービスNICO吉倉		
保護者評価実施期間	令和7年12月19日		～ 令和8年1月10日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 15名
従業者評価実施期間	令和年12月19日		～ 令和8年1月10日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月5日		

## 分析結果

	事業所の強み( )だと思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士を配置しており専門的な支援を提供している。	モニタリングのタイミングだけではなく、運動面に関して相談があった際は即時対応できるように意識している。 事業所の児童への運動指導後、自宅でも取り組めるように写真を入れた運動カードや、取り組み方が書いてあるプリントを保護者へ配布し、自宅での運動習慣が身につくように工夫している。	外部講師が来た時に行った運動を事業所でも落とし込み、集団活動などで取り組めるようにしていく。 他職種への運動に関する基礎知識の向上を図り、支援の幅を広げていく。 児童が楽しめる運動を立案し、運動面での日々の活動の充実を図る。
2	特性が異なる児童への対応。	児童1人1人特性が違うため、音や刺激を軽減するために活動のエリア分けをしている。児童と職員が向き合ってお話することで、満足感に繋がったり、活動の時間を楽しみに過ごせるようにしている。	本音を聞き出すことで、児童の特性を理解することができるため、新たな発見が出来るように活動の充実を図る。
3			

	事業所の弱み( )だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会などの開催がなく、保護者同士の交流・保護者と職員の交流する機会が少ない。	事業所で開催する際、保護者の方の駐車場確保が難しい。 働いている保護者の方も多く、開催日時の設定が難しい。 土曜日の開催が候補に上がっているが、利用予定の児童の対応や保護者会に参加する職員の調整が必要となる。	学習センターなどの施設を利用することにより、駐車場の確保にも繋がる。 平日と土曜日で複数回開催するなどの検討が必要。 職員のシフトの調整や、事前に他事業所に応援を要請するなどに対応する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	直接的に関われるようなイベントや行事が少ない。	SNSやインスタグラムなどのツールを利用し、情報収集の幅を広げ、関われる機会があるイベントには積極的に参加していく。
3			